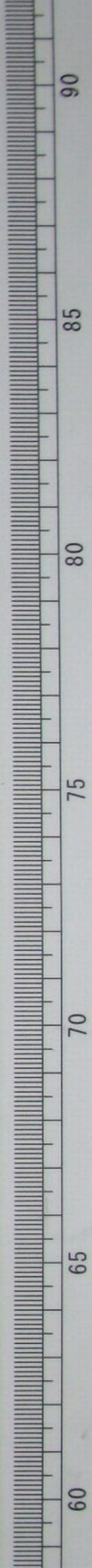


日本繪類考

首



14  
3159  
B68



日本繪類考

凡例

一此の書ハ、我國上古より近世に至  
リ、繪画の種類を蒐集し、考証を  
加へたるものにて、題して日本繪  
類考といふ、

一類考ハ、年代を追ひ、順序を定め、  
列載せんとせしむ種類煩雜にして、

年代未詳のもの甚あらず、よりて  
先づ蒐集せらるる所を載せたき、年代  
順序ハ、他日更に改めて定むへし、  
一引用の書、極めて多し、今一々其  
の書目を掲ぐるに暇あらざ、中に  
引書なきものあり、これ未だ書に  
筆せざる所のものなれば、固陋を  
顧みざして、記載せるあり、

一卷末に、画官、繪所等を挙ぐ、こ  
れ等は、繪類にあらざれども、繪  
画に關係せる一要件なれば、掲載  
せらるり、閱者此の書の附録と見  
做さハ、即可ならんのと、

明治三十三年二月

著者 飯島虚心述

日本繪類考目錄

〇

一 上古繪

二 窰院繪

三 泥塗繪

四 紙繪

五 つくり繪

六 筆手繪

七 物語繪

八 絹繪

九 靴繪

一〇 盤繪

一一 黒繪

一二 墨かき繪

一三 歌繪

一四 縁起繪

一五 あて繪

一六 繪合

一七 繪貝

一八 似繪

一九 障子繪

二〇 壁繪

二一 屏風繪

二二 表紙繪

三 螺鈿繪

二 象眼画

二 團扇繪

二 繪馬

二 女繪

二 佛画

二 格天井繪

二 扉繪

三 泥繪

三 蒔繪

三 沈金彫画

三 木筆画

三 扇繪

L  
三 掛物繪

三 水手繪

三 胡粉画

三ノ焼画

四〇繪日記

四一忍とり繪

四二錦繪

四三押画 張文畫

四四雲母繪

四五彩色摺繪

四六摺込彩色繪

四七木繪

四八漆繪

四九繪櫃

五〇大津画

五一紅繪 一尺丹繪 漆櫃

五二東錦画

五三浮画

五四柱かくし画

五二摺物繪

五三ふきほかへ繪

五四豆繪

五八口繪

五九繪籠又六

六〇繪手紙

六一うつし繪

六二藍摺繪

六三切組燈籠画

六四書簡筒

六五劇場看板繪

六六俳優似顔繪

六七ほろ画

六八加留多繪

六九羽子板繪

七〇画話



七一 疱瘡繪

七二 地口行燈畫

七三 廻り燈籠畫

七四 繪半切

七五 劇場番附

七六 讀本繪

七七 繪草紙

七八 上下繪

七九 さとり繪

八〇 密画

八一 畧画

八二 鳥目画

八三 刷画

八四 鞘画

八五 かき繪小袖

八六 繪兄弟

八二 鳥羽繪

八八一 筆画

八八 大画

九〇 彩色画

九一 へまムシヨ入道

九二 水画

九三 盆画

九四 繪草

九五 びら繪

九六 大工雛形繪

九七 繪提灯

九八 はめ繪

九九 陶器繪 赤繪

一〇〇 縮緬繪

一〇一 紙織繪

一〇二 略曆

一〇三 繪直し

一〇二 謎画

一〇一 吹き繪

一〇〇 銅版繪

九九 繪看板

九八 砂繪

九七 縫箔繪

九六 日傘繪

一一 繪曆

一〇 指頭画

〇九 繪探し

〇八 千社参札

〇七 踏繪

〇六 石版繪

〇五 西洋画

〇四 日付繪

一八九 紙鳶繪

一三〇 割物繪

一三一 眼鏡繪

一三二 彫刻下画

一三三 染物繪

一三四 繪幟

一三五 刺青繪

一三六 春画

一三七 寫真

一三八 曲画

一三九 石灰繪

一四〇 繪名札

一四一 石刻画

一四二 摺込模様繪

一四三 友禪染

一四四 あり出し画

一三九さしこ半纏画

一四〇かハリ繪

一四一地圖

一四二切繪圖

一四三建築圖

一四四瓦版画

一四五新聞挿画

一四六能狂言画

一四七金太郎繪

一四八寶船繪

一四九錦繪山水

一五〇繪名目

一五一覽圖

一五二見取圖

一五三各所圖會

一五四ホロ子繪

一五二相撲画

一五三武者繪

一五四化物繪

一五五大黒繪

一五五繪画起源

一五六書先成りて画後に生る

一五七書画圖

一五八詩画同意

一五九画の南北二宗

一六〇宅磨家

一六一西米田口家

一六二土佐家

一六三雪舟派

一六四南嶺派

一六五望月派

一六六四條派

一六七 書畫同理

一六八 唐繪倭繪

一六九 巨勢家

一七〇 任吉家

一七一 芝家

一七二 狩野家

一七三 曾我派

一七四 英派

一七五 圓山派

一七六 光琳派

一七七 板谷家

一七八 岸派

一七九 浮世繪派

一八〇 粗畫審畫

一八一 裏彩色

一八二 六要六長

一八三十二忌

一八四金碧山水 山水

一八五明兆の涅槃圖

一八六光起の鶏

一八七原孤

一八八文晁孤

一八九文人画

一九〇没骨画

一九一画の六法

一九二三病

一九三三品

一九四梵芳の蘭

一九五直庵の鷹

一九六探幽の富士

一九七尚信の馬

一九八應翠の卧猪



一九九 白仙の猫 ○

二〇〇 岩沖の鶏 ○

二〇一 平安の四竹 ○ X

二〇二 梅逸の花弁 ○

二〇三 天民の痴鶴 ○

二〇四 椿年の亀 ○

二〇五 一鳳の薄刈船 ○

二〇六 繪所

二〇七 宗達光琳の草花 ○

二〇八 奉時道人の蝦蟇 ○

二〇九 風外の達摩 ○

二一〇 狙仙の猿 ○

二一一 魚彦の鯉 ○

二一二 花頭花隠の櫻 ○

二一三 詩佛の竹 ○

二一四 混外の宝珠 ○

二二五 画官

二二六 繪佛師

二二七 画賛

二二八 はさき 繪

二二九 繪解 画始

二三〇 粉本

二三一 寫生画

二三二 画題 落款

二三三 書画帖

二三四 裱装

二三五 鑑画會

二三六 書画展覽會 終

二三七 繪難坊

二三八 繪虚言

二三九 席画

二四〇 画本

二二一 下画

二二二 画才

二二三 收画法

二二四 繪後裝

二二五 書画會

